

市町村名	国頭村						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	やんばるの自然環境保全事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-1-(2)-ア	
担当部課名	環境保全課	事業実施(予定)年度	令和4年度～令和6年度	沖縄振興基本方針該当箇所	自然環境・生物多様性の保全・継承	Ⅲ-10-(1)	
事業内容	村内の観光施設及び村営林道において、希少種や外来生物の分布状況を把握し、緊急性の高いエリアを選定して外来植物の防除業務を実施した。また、村営林道については、密猟対策として村営林道12路線を定期的にパトロールを行った。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	36,285	25,421	26,274		
		(b) 予算現額	19,800	26,553	23,430		
		(c) 増減額(b-a)	-16,485	1,132	-2,844	0	0
		(d) 繰越額	0	0	0		
	A. 計(b+d)		19,800	26,553	23,430	0	0
	B. 執行済額		19,800	26,553	23,430		
	うち交付金充当額		15,840	21,242	18,744		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		事業の発注にあたり、入札による落札残があり。これにより、当初予算との差額が生じたため、不要となった部分について減額。					
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	村内観光施設における外来種防除対策の実施 N=3か所	目標	(2か所)	(4か所)	(3か所)	()	
		実績	2か所	3か所	1か所		
	村営林道における林道パトロール及び外来植物等の分布調査の実施 N=12本	目標	(12本)	(12本)	(12本)	()	
		実績	12本	12本	12本		
達成状況説明	・当初は村内の観光施設3か所で外来種の防除を予定していたが、モニタリングの結果、「国頭村森林公園」の1施設において防除対象面積が広く、かつ未駆除エリアが存在していたため、今年度は同施設における駆除事業を実施することができた。 ・村営林道の監視及び外来植物の分布調査については、予定どおり12路線で実施することができ、外来生物防除の優先度を踏まえて、「チヌフク林道」、「宜名真林道」及び「奥間林道」においては、路線の一部において外来種防除を行うことができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	村内観光施設の外来植物減少率 A=70%以上	目標	()	(50%以上)	(60%以上)	(70%以上)	()
		実績		96%	95%	95.6%	
	村営林道における無許可で設置されたトラップ N=0件	目標	()	(0件)	(0件)	(0件)	()
		実績		0件	0件	0件	
	進捗状況説明	・村内観光施設の外来植物の減少率は、目標の70%を大きく上回る95.6%を達成することができた。 ・昆虫トラップについては、12路線中6路線で合計7地点15個の昆虫トラップを確認し、すべての回収・処分を行い、トラップは0件となり目標を達成することができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・観光施設においては、人の往来による外来植物を拡散させる可能性があり、外来植物を拡散しないように取組が必要である。 ・林道周辺における希少種や外来植物の分布調査により把握することができたが、今後モニタリングによる希少種や外来植物の増減等について、継続的な調査が必要である。また、盗掘等に関する抑止力の取組みも必要である。	・観光施設については、今後は年度ごとに計画的な外来種防除を実施し、外来植物の確実な低減につなげる取組みを行う。 ・村営林道においては、継続的な監視/パトロールの実施、モニタリング調査、年度ごとに計画的な外来種防除を実施し、外来植物の確実な低減につなげる取組みを行う。
今後の取組み方針		
・観光施設については、人の往来により外来植物の種子を拡散させないために、靴や被服についている種子を取り除くためのマットやエアークラシの設置について検討する。 また、段階的に外来種防除の取組みを、核施設の指定管理者に移行できるように検討を図る。 ・村営林道においては、密猟対策として、監視カメラと警告板をセットとして数ヶ所設置し、監視体制の強化及び密猟の抑止力強化につなげるための取組みを検討する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23,430</td><td>23,430</td><td>18,744</td><td>4,686</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	23,430	23,430	18,744	4,686	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
23,430	23,430	18,744	4,686	0										
国頭村 23,430千円 委託料 23,430千円 (株)沖縄環境地域コンサルタント 18,920千円 (株)沖縄環境地域コンサルタント 4,510千円 村営林道周辺環境保全対策検討及び監視体制強化 観光施設環境保全対策委託業務														
資金使途の流れ・検証・評価	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は指名競争入力で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額はなく適正な規模であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	国頭村						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	国頭村農林水産物販売強化事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(7)-ウ	
担当部署名	農林水産課	事業実施(予定)年度	令和5年度～令和6年度	沖縄振興基本方針該当箇所	多様なニーズに対応するフードバリューチェーンの強化		
事業内容	Ⅲ-1-(6)						
事業内容	村内農作物の都内での適正価格及び需要を把握することで、村内農作物の高価値化、また現地事業者と生産農家とのマッチングにより販路の拡大を図り、農産物等の販売力の強化及び農林水産事業者の所得の向上に繋げる。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
	予算の状況	(a)当初予算額	2,892	3,355			
		(b)予算現額	2,892	3,355			
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d)繰越額	0	0			
		A.計(b+d)	2,892	3,355	0	0	0
	B.執行済額		2,636	3258			
	うち交付金充当額		2,109	2606			
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		91.1%	97.1%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		航空券等の早期予約に努めたことによる不用額。					
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R5年度	R6年度			
	農林水産物の県外での販売強化の補助	目標	(販売強化の補助)	(販売強化の補助)	()	()	
		実績	販売強化の補助	販売強化の補助			
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	東京青山ファーマーズにおいて、村産農林水産物の販売を毎週実施、また村生産農家による直接販売会も実施し、販売を通してPRを行うとともに、東京の現地事業者と村農家を繋ぐ取り組みを実施した。 実際に青山ファーマーズマーケットが窓口となり、都心のレストラン、スーパーマーケット、メーカー等に村産農産物を知ってもらい、使ってもらう等、販売チャネルの開拓に繋がってきている。 また、沖縄物産公社が運営する北海道、大阪、名古屋の「わたしショップ」との取引も決まり、毎週出荷している。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値(年度)	R5年度	R6年度	R6年度	目標値(年度)
	マンゴー単価 1,590円/kg	目標	()	(1,590円)	(1,590円)	()	()
		実績		2,000円	2,000円		
	タンカン単価 455円/kg	目標	()	(455円)	(455円)	()	()
		実績		1,500円	1,500円		
	進捗状況説明	村産の農林水産物を知ってもらうことでブランド力が向上し、東京市場での受容性が高まった。また商品単価は既存よりはるかに高く設定することが実現でき、高付加価値化を生む流通の構築が進んでいる。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	本業務を通じて、東京市場での村産農産物の需要は徐々に高まってきているが、物流コストや供給の安定化が課題となっている。	・村産農産物を知ってもらう活動を継続し、新たな出荷先を開拓する。 ・共同配送の本格導入を推進し物流の効率化を図る。 ・同作物を生産する農家グループで発送することで供給量の安定化を図る。 ・加工品の開発などに取り組むことで年間を通して供給安定化を図る。
今後の取り組み方針		
村産農産物を知ってもらうための既存の取り組みは継続しつつ、新たな販売チャネルの開拓のための商品と購買者(企業・消費者)とのマッチングを強化していく。また年間を通しての供給が可能となるよう生産体制の整備や農産物加工品の開発にも生産者や協力事業者と共同で取り組んでいく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>3,258</td><td>3,258</td><td>2,606</td><td>652</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	3,258	3,258	2,606	652	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
3,258	3,258	2,606	652	0										
国頭村 3,258千円 → 補助金 3,258千円 → 国頭村地産地消推進協議会 3,258千円 〔国頭村農林水産物販売強化事業補助金〕														
資金 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○本村の要綱で設置している協議会を選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は事業費の5%以内であり、予算規模については適正な規模であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	国頭村						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	星空観光推進事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ		
担当部課名	商工観光課		事業実施(予定)年度	令和5年度～令和6年度	沖縄振興基本方針該当箇所	多彩かつ質の高い観光の推進	
事業内容	国頭村の星空を効果的に周知するためのコンテンツ制作、人材育成による受入態勢強化を図り、星空観光推進による観光振興を目的とする。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算 の 状 況		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
		(a)当初予算額	2,901	12,102			
		(b)予算現額	2,901	10,852			
		(c)増減額(b-a)	0	-1,250	0	0	0
		(d)繰越額	0	0			
		A.計(b+d)	2,901	10,852	0	0	0
		B.執行済額	2,794	10,630			
		うち交付金充当額	2,235	8,504			
		次年度繰越額	0	0			
		執行率(%) (B/A)	96.3%	98.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明	「星空観光推進事業モニターツアー委託業務」の実施を予定していたが、指定管理施設にてツアー開発及び商品販売が先行して行われたことにより実施を見送ったため、事業費1,250千円の減額を行った。						
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	星空コンテンツ開発の実施	目 標	(開発の実施)	()	()	()	
		実 績	開発の実施				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
	達成状況説明	・周知PRに使用する写真撮影、無料広報誌、婚姻届、封筒、多言語版VRの制作を行った。					
	成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値(年度)	R6年度	R7年度	R8年度
やんばる学びの宿泊者数:20,400人以上		目 標	() (20,400人以上)	()	()	()	
		実 績		8,262人			
奥ヤンバルの里年間利用者数:4,800人以上		目 標	() (4,800人以上)	()	()	()	
		実 績		5,047人			
国頭村森林公園年間利用者数:13,600人以上		目 標	() (13,600人以上)	()	()	()	
		実 績		16,879人			
安田くいなふれあい公園年間利用者数:4,800人以上		目 標	() (4,800人以上)	()	()	()	
		実 績		45,613人			
進捗状況説明		各施設とも現時点では第3四半期の実績となる。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	目標未達施設がある理由として、星空を活用したアクティビティの実施が追いついておらず、その結果、施設利用増加に繋がっていないことが要因の一つと考えられる。	人材育成を引き続き行うことにより、当施設の職員のみならず村内各施設連携によるガイドの派遣、利用者誘導を行うことにより、村全体の受け入れ態勢強化を図る必要がある。 また、雨天時の代替えコンテンツの開発、他アクティビティ実施および誘導などにより実績増加が期待できる。
今後の取り組み方針		
星空観光利用者数も年々増加しており、今後も更なる需要増加が見込まれる。そのため、人材育成、雨天時コンテンツの開発などの受け入れ態勢強化を実施する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
		総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
		10,839	10,630	8,504	2,126	209
国頭村 10,630千円	旅費 1,236千円	直接実施 857千円	〔 星空観光先進地視察 〕			
		直接実施 379千円	〔 星空観光先進地視察 〕			
		ほか、別予算分(交付対象外経)				
	委託料 9,394千円	おきなわ宙と星の会 90千円	〔 星空案内人養成講座開講 〕			
		㈱千代田プライダルハウス 502千円	〔 星空宣材写真撮影補助業 〕			
		ウィズ 1,034千円	〔 星空宣材写真撮影業務 〕			
		合同会社SUDERU 275千円	〔 星空動画BGM用フィールド録音委託業務 〕			
		㈱JTBパブリッシング 3,051千円	〔 星空無料広報誌制作委託 〕			
		㈱インディボンドネットワークス 495千円	〔 星空広報物制作委託業務 〕			
		TOPPANエッジ株式会社 1,269千円	〔 星空デザイン婚姻届・封筒 〕			
		西日本電信電話株式会社沖縄支店 2,475千円	〔 星空VR映像編集委託業務 〕			
		TOPPANエッジ株式会社 202千円	〔 星空デザイン偽造防止用紙制作委託業務 〕			

資金の 使途の 流れ、 点検、 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は指名競争入札及び公募型プロポーザル等で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は事業費の5%以内であり、予算規模については適正な規模であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	国頭村						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-①	国頭村交通不便地域における2次交通実証事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ		
	担当部署名	商工観光課	事業実施 (予定)年度		令和5年度～令和6 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	多彩かつ質の高い観光の推進
事業内容	本村を訪れる観光客の二次交通に係る課題解決及び利便性の向上を図るため、持続可能で安定した二次交通の導入に向けたコミュニティバスを運行し実証実験を行った。						
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度(R6年度)						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	20,636	57,291			
		(b)予算現額	20,636	54,425			
		(c)増減額(b-a)	0	-2,866	0	0	0
		(d)繰越額	0	0			
		A.計(b+d)	20,636	54,425	0	0	0
		B.執行済額	19,663	60,841			
		うち交付金充当額	15,730	44,443			
		次年度繰越額	0	0			
		執行率(%) (B/A)	95.3%	111.8%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	予算の状況の説明	昨年11月の北部豪雨災害に伴い、運休したことによる実証実験にかかるバスの実走の減額。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	アンケート調査(11月～2月)	目 標	(調査実施)	(調査実施)	()	()	
		実 績	調査実施	調査実施			
	実証実験の実施(12月～2月)	目 標	(実証実験の 実施)	(実証実験の 実施)	()	()	
		実 績	実証実験の実施	実証実験の実施			
	実証実験の評価(3月)	目 標	(評価実施)	(評価実施)	()	()	
		実 績	評価実施	評価実施			
	地域公共交通会議の開催1回(3月)	目 標	(会議の開催)	(会議の開催)	()	()	
		実 績	会議の開催	会議の開催			
達成 状況 説明	・実証実験期間中、2,976人の乗客のうち1,119人の乗客からアンケートの回答を得た(回答率37.6%) ・地域交通会議については11月と2月に開催した。会議においては運行に係る課題の検証を行い今後の運行方法について協議した。 ・実証実験の評価は、2月の「国頭村二次交通実証事業推進協議会」で実施した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値 (年度)	R5年度	R6年度	R7年度	目標値 (R6年度)
	実証実験の実施、評価及び推進協議会の開催	目 標	()	(全て実施)	(全て実施)	()	()
		実 績		全て実施	全て実施		
	・乗客を対象としたアンケートの実施 ・運行路線の検討 ・実証実験(通年)の実施・効果検証 ・実証実験から自走化へ計画 ・地域交通会議の開催	目 標	()	()	()	()	(実施)
		実 績					実施
	進捗 状況 説明	・実証実験については、6月10日から3月31日まで実施(毎週火・木/12月31日・1月1日運休) ・実証実験の評価、アンケートの分析については、2月に開催した「国頭村二次交通実証事業推進協議会」において評価・検証を実施した。 【後年度】 ・実証実験については、6月10日から3月31日まで実施(毎週火・木/12月31日・1月1日運休) ・実証実験の評価、アンケートの分析については、2月に開催した「国頭村二次交通実証事業推進協議会」において評価・検証を実施した。 ・運航路線、自走化への計画について検討を行った。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(実証実験の実施、評価) ・6月10日から実証実験をスタートし、3月31日まで実証実験を実施した。 評価については、2月に開催した「国頭村二次交通実証事業推進協議会」において評価・検証を実施した。評価・検証の結果、乗降者が少ないバス停があった。また、トイレ休憩箇所が少ないとの意見があった。 (アンケート調査の分析) ・6月10日から3月31日まで実施した実証実験で乗車した方2,976人中、1,119人からアンケートの回答を得た。内容については、「増便してほしい」との意見が最も多く次年度以降も継続運行をしてほしいとの意見も多くあった。	(実証実験の実施、評価) ・実証実験を検証した際に、乗降者が少ないバス停については見直しが必要。 ・アンケートにおいてトイレ休憩箇所が少ないとの意見もあり、トイレ休憩確保のため、時刻表の見直しが必要。 (地域公共交通会議の開催) ・村内の観光関係者をメンバーとする「二次交通実証実験推進会議」において引き続き実証事業の効果検証、意見等の集約を行う。
	【後年度】 (実証実験の実施、評価) ・6月10日から実証実験をスタートし、3月31日まで実証実験を実施した。 評価については、2月に開催した「国頭村二次交通実証事業推進協議会」において評価・検証を実施した。評価・検証の結果、乗降者が少ないバス停があった。また、トイレ休憩箇所が少ないとの意見があった。 (アンケート調査の分析) ・6月10日から3月31日まで実施した実証実験で乗車した方2,976人中、1,119人からアンケートの回答を得た。内容については、「増便してほしい」との意見が最も多く次年度以降も継続運行をしてほしいとの意見も多くあった。 (運航路線、自走化へ計画) ・乗降者が少ないバス停があるため改善が必要。 ・自走化に向けて検討が必要。	【後年度】 (実証実験の実施、評価) ・実証実験を検証した際に、乗降者が少ないバス停については見直しが必要。 ・アンケートにおいてトイレ休憩箇所が少ないとの意見もあり、トイレ休憩確保のため、時刻表の見直しが必要。 (地域公共交通会議の開催、運航路線、自走化へ計画) ・村内の観光関係者をメンバーとする「二次交通実証実験推進会議」において引き続き実証事業の効果検証、運航路線の改善、自走化への計画について意見等の集約を行う。
(実証実験の実施、評価) ・実証実験を検証した際に、乗降者が少ないバス停については見直しを行う。 ・今年度は定期運行のみであったが、次年度はAIオンデマンド運行も取り入れ実証実験を実施する。 ・アンケートにおいてトイレ休憩箇所が少ないとの意見もあった為、観光地の駐停車時間を延長し、トイレ休憩の時間を確保する。		
(地域公共交通会議の開催) ・「二次交通実証実験推進会議」において、引き続き改修したアンケートの分析、効果検証を行い、ルート設定、効率的な運行形態の検討を行う。また、実証実験終了後の本格運送に向けても推進会議において検討を行う。		
【後年度】 (実証実験の実施、評価) ・実証実験を検証した際に、乗降者が少ないバス停については見直しを行う。 ・今年度は定期運行のみであったが、次年度はAIオンデマンド運行も取り入れ実証実験を実施する。 ・アンケートにおいてトイレ休憩箇所が少ないとの意見もあった為、観光地の駐停車時間を延長し、トイレ休憩の時間を確保する。 (地域公共交通会議の開催、運航路線、自走化へ計画) ・「二次交通実証実験推進会議」において、引き続き改修したアンケートの分析、効果検証を行い、ルート設定、効率的な運行形態の検討を行う。また、実証実験終了後の本格運送(自走化)に向けても推進会議において検討を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
60,841	60,841	44,443	16,398	0

国頭村
60,841千円

委託料
60,841千円

新報トラスト株式会社
60,841千円

国頭村交通不便地域における二次交通実証事業委託業務

資金の流 れ、点 検、評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は、公募型簡易プロポーザルで選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は事業費の5%以内であり、予算規模については適正な規模であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	